学校番号	T0106

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	新版数学Ａ　新訂版（実教出版）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年次までで学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。第１回授業時にファイルを配布します。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し、知識の定着を図ります。問題プリントは実施ごとに回収し，評価の対象とします。毎回しっかりと取り組みましょう。授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせずに，しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

今までの学習内容を基にして、三角形の辺の長さと角の大きさとの関係、内角・外角の２等分線と辺の比、三角形の外心・内心・重心などの性質を扱う。それらの学習内容を元に、平面図形に対する直観力･洞察力を養うとともに、平面図形の性質を論理的に考察して的確に表現する能力を育成する

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して図形の性質における考え方や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、図形の性質における見方や考え方を身に付けに事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的･発展的に考える。	図形の性質において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	図形の性質における基本的な概念、原理･法則、用語･記号などを理解し、基本的な知識を身に付けている。
評価方法	提出物、授業態度、出席状況、定期考査等	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	図形の性質	三角形と線分の比	○	○	○		a: 平面図形の性質の美しさに興味･関心を持つとともに、それらの性質を活用しようとする。 b: 平面図形を多面的にとらえることなどにより、図形の見方を豊かにする。平面図形に関する基礎的な定理を用いて、様々な平面図形の性質を証明できることに気づかせる。 c: 平面図形の性質を表現することができる。さらに、それらの性質を考察する能力を養う。 d: 平面図形に関する基礎的な定理、性質について理解し、それらの知識を身に付ける。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		三角形の重心･外心･内心	○		○	○		
		メネラウスの定理とチェバの定理		○	○	○		
後期	図形の性質	円に内接する四角形	○	○		○	a: 円に内接する四角形，接線と弦のなす角，方べきの定理などを活用しようとする。さらに基本的な図形の性質などをいろいろな図形の作図に活用しようとする。 b: 円周角の定理とその逆を使って円に関する様々な定理が見出されることを考察することができる。 c: いろいろな円の性質を適切な表現を用いて表現･作図することができる。 d: 円における様々な性質を系統的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		円の接線と弦のつくる角		○	○	○		
		方べきの定理		○	○	○		
		2つの円		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。